



## 仮設図書館のご紹介

期間 : 2012年9月10日~2013年2月28日  
 開館時間 : 平日 8:30~17:00  
 ※休業期は9時開館  
 ※土日祝日は休館  
 貸出 : 5冊1週間(延長1回まで1週間可)

詳細はNo.39 仮設図書館増刊号で!

大学会館  
 (生協ショップが  
 ある建物)の  
 2Fです!

本館にあった資料すべてが利用出来るわけではありませんので、注意してください。

## CONTENTS

- 仮設図書館のご紹介
- 講習会のご案内
- シンポジウム参加報告
- お薦め図書
- あらすじで読み解く古事記神話
- つぶやきライム
- 第30回/気になる話し言葉
- ライムのほんやりトーク



## Web of Knowledge 講習会のご案内

日程 : 10月10日(水) 12:45~14:15  
 ※出雲キャンパスでは9日開催  
 対象 : 学生・教職員  
 内容 : Web of Science、JCR、EndNote Web  
 会場 : 松江キャンパス総合情報処理センター 第一実習室

インターネット講習会  
 については図書館 HP  
 をチェック

申込先 : 附属図書館学術情報担当  
 Tel: 0852-32-6087(内線 2750,2751)



## 大学図書館 学生協働交流シンポジウム 参加報告

2012年  
 9月10日(月)  
 in 島根県立大学  
 浜田キャンパス

島根大学で活動する図書館コンシェルジュ。他大学でも同様の活動があります。今回、コンシェルジュ5名が4大学合同開催の第2回交流シンポジウムに参加してきました。この内容はコンシェルジュブログで詳しく報告しています。



## 附属図書館本館 改修工事スケジュール

仮設図書館が  
 大学会館 2Fで開  
 館中です!後期  
 はこちらをご利  
 用下さい。

壁で覆われた  
 本館がどうなっ  
 ったか…。図書  
 館ブログにて写  
 真付きで紹介中  
 です。

詳細は館内掲  
 示やHPの「本館  
 工事関連情報」  
 をチェック!



注/工事や作業状況により予定がずれることがあります

		2012年		2013年				
仮設図書館	本館	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
開館	工事中							
閉館	準備中							
	開館							

# お薦め図書

このコーナーは毎回様々な人が選んだお薦めの本を紹介するコーナーです。  
今回は図書館職員の推薦図書です。

## あらすじで読み解く古事記神話

三浦佑之著【NDC:913.2/Mi67 仮設・閲覧室】

2012年は「古事記」編纂1300年を迎えるそうです。これを記念して島根県では、「神話博しまね」と題して、出雲大社周辺を主会場に各地でイベントが開催されています。ここで私は疑問に思いました。なぜ島根で「古事記」がフィーチャーされるのか、「風土記」と間違えてるんじゃないか、と。

いやいや県を挙げて間違えるはずない、ということで、手に取ってみたのが本書です。まず1ページ目、宍道湖の夕焼けの写真がどーんと載っています。2ページ目は美保関のお祭り、3ページ目は出雲平野を流れる斐伊川、そして4ページ目は出雲大社がと、さながら「島根への旅行特集」を思わせる見開きカラーが続くのです。そこで私は確信しました。どうやら「古事記」と島根は大いに関係あるらしいと…。

「古事記」は現存最古の歴史書で、上・中・下の3巻から成ります。本書ではこの内、上巻で扱われている神々の物語について紹介されており、そのいくつかの舞台として島根が

登場しています。内容はなんともツッコミどころ満載です。序盤は出産ならぬ、怒涛の神ラッシュ。次々と神が生まれ、そうこうするうちにオホクニヌシの兄弟は約80。その八十の神々から反感を買ったオホクニヌシは彼らに何度も殺されるも、何度も母神に生き返らせられます。このような神話の要約と共に、解説にも力が入っており、神が活躍する同じ時にも人間は存在していたことや天の岩屋の前で踊った神はにらめっこにも強いこと、イザナキ・イザナミのイザはいざ鎌倉のイザなのではという説、荒唐無稽にも見える展開の裏に読み取れる思想や当時の様子等が紹介されています。

初めて「古事記」を読もうという方向けとあって、読みやすい内容です。専門的な解説もありますが、それが「古事記」研究の深さを感じさせます。「風土記」と間違えてるんじゃないかという恥ずかしい勘繰りは改めて、ちょっと「神話博しまね」(11/11まで開催)に行ってみたくになりました。(kori)

## つぶやきタイム

～図書館職員のメッセージリレー～

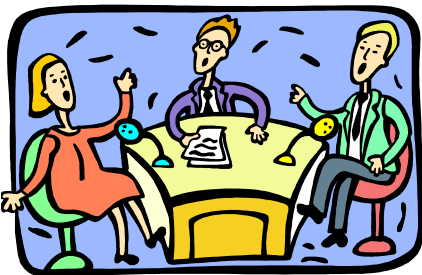
### 第30回 気になる話し言葉

テレビを見て(聞いて)いる時、また人と話している時などに少々気になることがある。政治家や芸能人がよく使っている・・・出させて頂く、見させて頂く、努力させて頂く、頑張らせて頂く等々。喋っている当人は丁寧かつ遜(へりくだ)って言っているつもりだろうが、聞いていて耳障りに感じる。我が子に「おやつを上げる」「勉強をみてあげる」も丁寧すぎると思うのは私だけだろうか。子どもに直接言う時はまだしも、他人に話すときこれをやられるとちょっと引いてしまう。まあこれなどは目をつぶるとしても、犬や猫に「餌を上げる」「散歩に連れて行って上げる」「着せてあげる」に至っては噴飯ものである。(犬・猫がつけ上がる元である。)

ら抜き言葉の横行も気になる。テレビの字幕では“ら”を入れて表示されるのが多少の救いか(全てではない)。しかしこうも多くの人が当たり前のように使い続ければ、そのうち字幕の訂正もなくなるのではなからうか。かくいう私もきちんと言えているかどうかはなはだ疑問ではあるが、人の話を聞いていて時に違和感を覚えるということは、多少はましなのではないかと自惚れている。まあ、自分に甘く他人に厳しいのは私に限ったことではない。他人のアラはよく気が付くというものだ。

ついでに書かせてもらうが、日常に溢れている電子音・機械音も耳障りである。ケータイの呼び出し音、チャイム、聞きたくもない電話の待ち歌、ATMなどの機械的な「いらっしやいませ・・・」エトセトラ。ああ私も年齢を重ねて偏狭になってきたというべきか……。なお、ら抜き言葉については擁護派もいて、ネット上で堂々と意見を開陳している。であるから、私の意見には反論もあるかと思うが、偏狭な私としては受け付ける気がないので悪しからず。

(IK)



## ライムのぼんやりトーク



けんさくくん

初めて仮設図書館に来てみたよ。何も無い部屋だったのに図書館ぽくなってビックリ



みいなちゃん

何だか、中学校とか高校の図書室を思い出すなあ。…!? 席が少ない!! どこで勉強したらいいの!?



ライム博士

落ち着いて、みいなちゃん。めいっばい書架を立てた関係で、机のスペースが無くなったんだ。総合理工学部2号館306号室を自習室として設けたから、そちらも検討してくれないかな。



けんさくくん

そっか、仮設図書館に持って来れなかった資料は4月まで利用できないもんね。仮設図書館には、利用頻度の高い資料から順に、本棚に入る分だけ持ってきてあるんだよね。



みいなちゃん

つまり、使える資料ばかりってこと!? 専門外でも面白い本が見つかるかも!